

和製ユニコーンを生み出した 「バックキャスティング思考」とは？

～4500兆円市場へと成長するバイオエコノミーの最前線～

今、石油産業に代わる次世代の成長産業として「バイオテクノロジー」が世界中で注目を浴びています。

2022年、アメリカ政府の公式文書の中で『10年後、バイオエコノミーは30兆ドル(約4500兆円)の産業になりうる』と言及され、研究開発と実用化が大きく注目されるようになりました。

そんなバイオテクノロジーを世界に先駆けて事業化しようとまい進しているのが、日本発のベンチャー企業群「ちとせグループ」です。

今年3月には、未上場のスタートアップながら同グループの株式時価総額は1000億円を突破し、和製ユニコーンの仲間入りを果たしました。

その企業理念は、1000年後まで人類が豊かに暮らすことのできる社会の礎を作ること。**数百年後の人類のためにできることを一つずつ**という壮大なバックキャスティング思考が、ここまで成長した企業の根底にあります。

講演では、ちとせグループがバックキャスティング思考により目指す**新しい循環型社会の構築**と、そのための技術群を**継続的に収益性が上がる事業として実装するための取り組み**についてお話いただきます。

持続可能な未来の鍵を握るビジネスモデルをいち早くキャッチしませんか？みなさまのご参加をお待ちしております。

↑大阪・関西万博「日本館」での展示

<日時>

令和7年7月30日(水) 15:00 - 16:30

<開催方法>

ハイブリッド開催

会場:大宮ソニックシティ市民ホール 404

Web:Zoomミーティング

<定員>

会場 40名(先着順) + Web

<参加費>

会員:無料 / 非会員:19,800円(消費税10%込)

<申込方法>

本会HP(右記QRコード参照)
または下記申込書にてFAXでお申込み



主なテーマ

- バックキャスティング思考による未来の産業構築
- バイオテクノロジーを活用した新産業の可能性
- 持続可能な循環型社会をつくるために企業が貢献できること
- 大阪・関西万博での取組内容
(日本パビリオンにて「藻類」由来の未来の製品を展示中)

講師情報

ちとせグループ
Tech & Biz Development Div.
主席研究員

原田 大士朗 氏



学生時代に個人事業主として「はらペー」による生物統計解析サービスを開業し、生物統計解析代行、統計コンサルティング業に従事。ちとせ研究所では、多層的データベースの開発運用から一貫貫した機械学習パイプラインの研究開発を行っている。複数の国家プロジェクトに従事し、数十万人規模の日本人健康データの解析実績を持つ国内屈指の研究者。



FAX 048-641-0924(埼玉県経営者協会宛)

令和7年度第3回トップセミナー 参加申込書

貴社名

電話番号

所属・役職名	氏名	メールアドレス	参加方法
			<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
			<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン